



令和5年3月20日  
宇和島市立立間小学校



## 「いつするの？ 今でしょう！」

坂本 新一郎

令和4年度も残すところあと僅かとなってきました。今年度は新たに防災・減災教育に取り組み、立間防災フェスティバルにおいて成果となる『防災マップ』の発表をさせていただきました。今後の継続した取組によって、「自分の命は自分で守る」児童を育てていきたいと考えています。

先日「うわじま防災シンポジウム」において、名古屋大の福和伸夫名誉教授による防災講演『南海トラフ地震について本音で語ろう』がありました。南海トラフ地震が発生した場合、西日本の太平洋側の地域には3日以内に救助や支援物資が届くことは期待できない。つまり、国や自治体に頼るのは限界があり、自助努力と地域での扶助を中心に準備をしないと被害が大きくなると警鐘を鳴らしています。具体的には、①家具の固定（転倒防止対策）②水・食料、日用品等の準備 ③避難先などの確認 ④家族との安否確認手段の確認 をあげていました。「家具の下敷きになっては、素早く避難することはできませんよ。」「避難経路が瓦礫等で通行できなくなった場合、避難場所までたどり着けませんよ。」など問題点を投げかけられました。「大規模災害時まで最低限の準備はしておく」ことの重要性を認識し「そのうちではなく、今しなければならぬ」と考え、行動に移していく必要があるでしょう。「自分の命は自分で守る」ため、御家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

## 身の回りのものを大切に ～鉛筆感謝祭～

鉛筆が短く使えなくなるまで使い切るなど、身の回りの物を大切にする気持ちを持った立間っ子になってほしいということで、鉛筆感謝祭をしました。立間小学校の伝統的な行事になっています。

持ち物だけでなく当たり前の生活が送れていることに感謝できる子になってほしいと思います。



## 「皆笑う おにぎり頬張る 春うらら」～オリエンテーリング遠足～



少し肌寒い中でしたが、毎年恒例のオリエンテーリング遠足を行いました。コースは、結構な距離と勾配ですが、途中、景色を楽しむこともできました。昼ご飯は、おにぎり弁当です。俳句のように、歩き疲れた後のおにぎりは、みんなを笑顔にしてくれたことでしょう。

このように地域を歩いて自然に親しんだり、みんなで協力して課題をクリアしたりしていく活動を通して、6年生との楽しい思い出がまたひとつ増えました。

## 【3月10日 6年生を送る会】

6年生を送る会での各学年の出し物や全校ゲームは、6年生に楽しんでもらえるようなものばかりでした。5年生の頑張る姿がとても頼もしく印象的でした。

